**令和７年度**

**大阪府スマートシティ戦略推進補助金　採択事業の概要**

※市町村名　採択順

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 | 「my door OSAKA」と「堺市図書館情報システム」および「公民連携地域ポータルアプリ」とのID連携事業 |
| 市町村名 | 堺市（スマートモデル事業） |
| 事業計画概要 | 個人向け総合行政ポータル「マイド・ア・おおさか」」のIDのうち、堺市に住民票がある利用者のIDである「SakaI-D」で「堺市図書館情報システム」へログインできるようになることで、利便性や暮らしの質の向上をめざす。  SENBOKU スマートシティコンソーシアムで取り組んでいる公民連携地域ポータルアプリ「堺・せんぼくポケット」へ「SakaI-D」でログインできるようになることで、公民のサービスをシームレスにつなげ利用しやすい環境を構築する。  複数のサービスと「マイド・ア・おおさか」のID・パスワード一つで様々な、サービスをシームレスに利用できるようになることをめざす。 |
| 採択コメント | SakaI-D及びmy door OSAKA（マイド・ア・おおさか）の利用者拡大の観点から、現存するシステムの連携や公民連携地域ポータルアプリを対象とすることで、今後ORDEN事業の拡大・民間参入が促進される可能性がある点を評価。  また、事業の一部については、マイド・ア・おおさか導入を検討している自治体のモデルケースになりうることから、先導的な立場として、府域全体を牽引する役割を果たしてほしい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 | フリータイムプロジェクト |
| 市町村名 | 豊中市 |
| 事業計画概要 | デジタル技術を活用し、子育て世帯と民間子育て支援サービスのマッチングの仕組みを構築し、サービス事業者を誘致することで、子育て支援サービスを利用しやすい環境づくりを行う。  子育て世帯が生成AIチャットボットに入力した"漠然としたお悩み"から、ポータルサイトを通じて子育て支援サービスとのマッチングの実証実験、及び、市内の子育て支援サービス事業者が登録可能なポータルサイトを立ち上げ、子育て世帯とサービスのマッチングを容易にする環境を整備するとともに、全国から子育てに資する企業およびサービス誘致を実施。 |
| 採択コメント | 子育て支援サービスを多角的に検討し、子育て世帯と支援サービスを効果的・効率的に結びつける事業スキームが構築されている点を評価。  多様な選択肢が提供されることで、子育て世帯とともに、より子育てしやすいサービス環境が整備され、多くの住民が積極的に利用していくことを期待。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 | 山手地域における遠隔監視による自動運転車両の実証運行事業 |
| 市町村名 | 岸和田市 |
| 事業計画概要 | 令和３年度～令和４年度の取組みでは、地域のにぎわいの創出やモビリティポートの有効性についての効果を確認できたことで、令和５年度には道の駅愛彩ランドへのモビリティポート及びシェアサイクルの設置・実装を実現した。令和６年度は山手地域での公共交通ネットワークの再構築に向けた検討のため、自動運転技術の実証と拠点施設（モビリティポート）の機能強化・待合環境の整備を図った。  今年度は昨年度実施した自動運転技術のステップアップとして遠隔監視を用いた自動運転車両の実証運行を行い、山手地域における公共交通ネットワークの再構築に向けた可能性を探る。 |
| 採択コメント | レベル４の自動運転に向けて、着実に事業を進めている点を評価。さらに、幹線道路から山間地域に向けて長距離の実証に取り組もうとしている点についても評価。  レベル４の自動運転実現に向けてのロードマップを作成し、年度毎の計画を策定するとともに、近隣の自治体との更なる連携強化や、持続可能な仕組みの構築について、国も含めた行政での議論が更に深まることを期待。  同様の自動運転を実施している四條畷市とも連携し、レベル４の自動運転の早期実現に向けて相乗効果を発揮すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 | 自動運転車を起点とした地域主体のまちづくり推進事業 |
| 市町村名 | 四條畷市 |
| 事業計画概要 | 令和９年（2027年）の自動運転レベル４実装に向けて、車内外の状況等を遠隔で監視し、自動運転車の運転操作（遠隔操作）やボタン操作等の走行支援（遠隔アシスト）により自動運転車の走行に関し補完・支援状況を確認する遠隔制御・遠隔アシストシステムの実証実験や、信号機情報（表示色・表示時間）を自動運転車に提供することで、自動運転車の信号交差点の通過判断（通過・停止）の支援状況を確認する信号協調システムの実証実験を実施。 |
| 採択コメント | 遠隔制御・遠隔アシストシステムは大阪初であり、新規性が高い。コンソーシアムの設立や地域住民が主体となるボランティアなど多様なプレーヤーが参画し、着実に事業継続できるよう工夫している点を評価。  路車協調システムや信号協調システムとの連携による実証を積み重ね、その知見を共有することにより、地域ごとの道路事情に即した自動運転システムが構築されていくことを期待。  同様の自動運転を実施している岸和田市とも連携し、レベル４の自動運転の早期実現に向けて相乗効果を発揮すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称 | 人工衛星画像のAI解析による漏水調査事業 |
| 市町村名 | 堺市他５団体（ｎ対ｎサービス事業） |
| 事業計画概要 | 堺市を幹事団体として他５団体が連携し、各団体にて定めた頻度で実施している、調査員による漏水調査（直接調査）に代わり、人工衛星画像のAI解析を活用した調査を行う。  効率的な漏水調査を実施することで、漏水による2次災害の防止や水の有効利用による水道事業の安定を図るなど、市民サービスの向上につながる。 |
| 採択コメント | 緊急性が高い自治体共通の事業課題に対し、複数の自治体に働きかけを行い、その結果６団体が連携することで、経済的効果の高い調達が実現できている点を評価。  調査方法やその結果等のノウハウを共有し、今後さらに効果的な施策が立案されるとともに、広域的かつ継続的な事業実施に向けたスキームが構築されることを期待。 |